

# KSN 通信 VOL.152

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は一方ならぬご厚誼を賜り、誠にありがとうございました。

本年も皆様のご期待に添うべく、誠心誠意技術の向上に専念し、よりよいサービスをご提供できるよう努めますので、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## ■ 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り、深く感謝申し上げます。本年も皆様のご要望にお応えし、いっそう社業に精励いたす決意です。なにとぞ変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス（COVID19）の世界的な流行、いわゆるパンデミックにより、全世界で約7000万人が感染し、約160万人もの尊い命が奪われてきました。また、世界経済に目を向けると、感染の封じ込めのための経済活動の停止（ロックダウン）の措置により、短期間で甚大なショックと深刻なダメージを被り、世界経済成長率は約6%の減少に転じると予測されています。更に、この感染症は未だコントロールされておらず、更に深刻な危機をもたらす可能性を大いに含んでおり、現在も進行し続けています。

このような状況下ではありますが、新年を迎え、この新型コロナウイルス（COVID19）と正面から向き合うにあたって、先人の知恵である「干支の意味を考えながら」KSNグループの目指すべき将来や未来、あるべき姿について考えていきたいと思っております。

本年の干支は辛（かのと）、十二支が丑（うし）、辛丑（かのと・うし）です。元来、十二支は植物が循環する様子を表していると言われております。丑は十二支の2番目、子年に蒔かれた種が芽を出して成長をする時期とされています。また、丑（牛）は古来より酪農や農業、開拓において人を助けてくれた大切な動物であり、大変な作業を最後まで手伝ってくれる担い手として、「我慢（耐え忍ぶ）」、「これから発展する前触れを作る（芽が出る）」という年周りの意味も持ちます。本年の辛丑（かのと・うし）は、「辛、草木が枯れて、新しくなろうとしている状態」、「丑、種から芽が出ようとする状態」、すなわち、「新しい出発の兆し」と言えるでしょう。新しい出発、まさに新たな転換期の兆しです。新型コロナウイルス（COVID19）により、経済のみならずライフスタイルが大きな転換を余儀なくされる時代であることも鑑みると、「下をばかりみてふさぎ込んでいるのではなく、上を向いてアグレッシブに挑戦する」、そして、その挑戦と変化というイノベーションを楽しむ事が重要なのではないかと考えています。

例えば、2030年を基軸に、ネット・カーボン・ゼロの宣言が各国で打ち出されています。これは、新型コロナウイルス（COVID19）による社会構造の急激な変化で更に加速度を増し、進んでいくものと考えられます。私達の事業は、「有機物中の炭素を固定化する技術」をコア・コンピタンスとして、固定化された炭素の貯蔵、いわゆるカーボン・シンクに寄与するものです。この大きな転換期に、これらの考え方を体系的に取りまとめ、社会に発信し貢献することも重要な変化の一步と考えます。

挑戦と変化には、「辛（つらさ）」が付きものです。偶然ではございますが本年は辛丑（かのと・うし）、多少の「辛」は共有し、互助の力でこれを乗り切り、時代の大きな転換の波を共に乗り越えていく。これこそが、私達のメンタル・ポリシーである「私達は、変化を恐れるのではなく、常に柔軟かつ慎重に、時には大胆に、行動できる会社であり続ける」と考えています。

本年も、様々な外的要因や内部要因により、マーケットや事業環境は変遷してまいります。これらを全てチャンスととり、私共の事業活動が社会経済活動から評価され、私達の「ソリューション」が社会に貢献できるよう、使命を持って社会から選ばれる企業へと成長するための基盤を共に創造し、さらなる飛躍と発展を目指してまいります。

結びに、皆様方の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 関西再資源ネットワーク  
代表取締役 福田 裕司

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク  
〒592-8331  
大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）  
FAX：072-320-9004